

洋書輸入協会会報

VOL. 25

NO. 5

(通巻289号) 1991年 5 月

理事会報告

4 月 9 日(火)

(一) 退会届

株式会社 サイテック ブックサービスの3月31日をもっての退会が承認された。

(二) 3 月分収支および1990年度収支計算・予算対比表

4 月 5 日(金)の総務委員会での検討にもとづく松井幸雄(丸善)の報告を承認した。

(三) 1991年度予算の件

総務委員会案について報告をうけ、審議した。

(四) 定時総会

理事会報告案が提出され、次回理事会で検討することになった。

(五) その他

(1) 丹羽正之氏(緑書房)からの、関西支部事務局員吉良山葉子さんが3月末で退職し、後任決定までは欠員となる旨の報告が紹介された。

(2) 4 月 4 日(木)の東京外郵通関協議会で小林英一氏(丸善)がひきつぎ会長に選任されたことが報告された。

海外ニュース

「英国出版社の人員整理」

今春イギリスの出版社には人員整理の嵐が吹き荒れている。Hodder & Stoughton は120人、HarperCollins は60人、Ladybird は54人、Random Century は31人、Faber は14人の整理を相次いで発表し、実施した。一挙に250人もの出版人が職を失ったわけで、その中には出版部門の最高責任者や編集長クラスの人にも多く含まれており、イギリスの出版界にショックと悲しみを与えている。

理由は各社によりさまざまだが、大別すれば、不況に備えての「減量」、企業集中に伴う「合理化」および企業買収に金がかかりすぎたための「財政難」などが挙げられている。

約7,000人のメンバーを有する著作家協会はこの件に重大な関心を表明し、その出版の質と著作家のモラルに及ぼす影響を懸念している。

(The Bookseller、3月22号他より)

—(株)紀伊國屋書店提供—

理事会報告	1	会員紹介	4	文化厚生委員会だより
海外ニュース	1	海外ニュース	5	フォーティ・ラブ(テニス同好会)
洋書輸入協会史(61)	2	会員紹介	5	春季合宿報告
おしらせ	4	東京の坂と橋と文明開化(14)	6	広告
				8

洋書輸入協会史 (61)

洋書輸入協会顧問 相良 廣明

65 書籍及び定期刊行物の自動承認制包含範囲拡大の運動 (第二次)

65.1 A・A 範囲拡大運動再開

昭和27 (1952) 年4月1日よりA・A制 (自動承認制) が発足した。(JBIA 会報 Vol.22, No.4, 1988年4月号 所載、洋書輸入協会史(29)、31章 自動承認制 (AA) への移行 参照)

A・A 制の発足は大変有難かったものの、戦後の復興が次第に成果を挙げてくるのに伴って、洋書輸入業者が取り扱う対象品目が増加し、もっとA・A 制の範囲を広げて貰いたいとする要望が高まってきた。その第一次の範囲拡大の運動は昭和31 (1956) 年の4月から始まり、1年間陳情運動を繰り返したが、織物見本帳が加えられた他は何の成果も得られず、一旦運動中断の止むなきに至っている (JBIA 会報 Vol.23, No.6~7, 1989年6~7月号 所載、洋書輸入協会史(42) 及び(43) 参照)。

このようにして一旦中断はしたものの、A・A の範囲を拡大して貰いたいという要望は協会会員の間に根強く、約1年経過後の昭和33 (1958) 年3月25日の、通産省岩井氏との懇談の際に理事会側からこの話を持ち出している。即ちマイクロカード、クリスマスカード、カレンダー、地球儀などの品名をあげているが、これに対し通産省側は、マイクロカードはその必要性が認められるとしても、その他の品目については現段階では無理であろうと返事をしている。ともかく、このような形から第二次のA・A 範囲拡大運動は開始された。

65.2 請願書の提出 (第一回)

その後理事会、懇談会などで検討を重ね、通産省とも折衝したが捗々しい返事が得られず、請願書を提出して検討を願おうということになって、昭和33 (1958) 年7月18日付 JBIA No.26 で会員に次のように知らせている。

記

豫て (かねて) 通産省に対し2回上記に関する折衝を致しましたが、外貨事情の為取り上げになりませんでしたので、6月の懇談会の申し合せに従い、別紙の通り重ねて請願書を提出致しました。

今回はその都度審議許可されたものも含んで、可能性の多いものだけを選びました。(以下略)

[別紙]

書籍および定期刊行物としてA・A 中に包含されることを要望する請願書

昭和33年7月18日 洋書輸入協会

理事長 司 忠

通商産業大臣 高崎達之助殿

左記品目は書籍および定期刊行物としての取り扱いが望ましく、実際取引上にいろいろ不便がありますので、御調査の上正式にA・A 中に含まれますよう請願致します。

商品番号	品目及び理由
------	--------

862-139	フィルム (書籍の挿絵として作製されたものの)
---------	-------------------------

視聴覚教育の普及と写真技術の向上に伴い、原色写真によるフィルムストリップが挿画の代りに使用されるようになり、特に医学書の臨床写真などの場合は絶対の必需品ですから、書籍としての取り扱いを要望致します。

892-0410	写真 (マイクロカード文献写真)
----------	------------------

マイクロフィルムによる文献写真と全く同じく、写真の反射倒影により読むもので、米国政府出版物にはマイクロカード以外には出版されないものもあります。書籍と同様の取り扱いを要望致します。

892-0430	絵葉書 (名画の縮小印刷されたもの)
----------	--------------------

現在892-0420 (書画印刷したもの) として輸入を許されているもののうち、特に葉書大以下のものは教育用として無税の取り扱いを受けておりますが、たまたま裏面または包装面に Post Card と表示されたため区別されることは不合理ですから、名画の縮小印刷されたものに限り892-0420と同様の取り扱いを要望致します。

892-0920	印刷されたカレンダー (書籍の目録に掲載された絵及び写真と共に印刷されたもの)
----------	---

例えば Alpine Calender、Art Calender など外国において書籍と同格に取り扱われているものに限り、書

籍としての取り扱いを要望致します。(以上)

65.3 請願書の反応なし

7月にこのような請願書を提出したが、通産省側は依然として外貨事情を楯に取って乗り気を示さず、10月2日付通商弘報 No.2746によって公布された第3回 AA 制輸入公表を見ても、輸入品目には何の変わりもなかった。

なおこの時期は、なべぞこ景気の末期に当り、外貨事情が逼迫していたことは事実である。

65.4 再度の請願

そこで理事会としては、年の明けた昭和34(1959)年1月10日の理事会において、年頭の目標の一つとして A・A 制の範囲拡大に取り組むことを決め、協議を重ねると共に通産省に打診をし感触を探った結果、今一度昨年7月18日に提出した請願書と同文のものを提出してみようということとなった。これは2月10日付で、同日理事一同で通産省へ持参し、陳情を行っている。

65.5 A・A の範囲一部拡大

再提出された請願書と陳情とは、外貨事情の好転とタイミングが合致して、4項目の請願のうち2項目が認められることとなった。昭和34(1959)年4月1日付の JBIA No.69は、次のように述べている。

記

第一回輸入公表(自動承認制について)

本日、同封の通商弘報4月1日付 No.2891の通り、書籍及び定期刊行物を含む第1回(注参照) A・A 制輸入公表がありました。

今回の公表によりますと、書籍及び定期刊行物の品目に、新たに「書籍のさし絵として作製されたフィルム(スライドを含む)」と「マイクロカード文献写真」が含まれ、4月7日より適用されます。(以下略)

(注) 第一回とは、昭和34(1959)年度の第一回公表という意味。

なお、当時の情勢は、昭和32(1957)年下期から、昭和33(1958)年上期にかけての、なべぞこ景気を終え、同年下期から始まった岩戸景気によって、外貨事情が好転しつつあった時期である。

65.6 A・A 制範囲拡大運動のその後

このたびの範囲拡大は、あくまでも請願の半分が実現したものに過ぎず、情勢の変化と共に範囲拡大の必要性も高まるばかりであった。そこでこの範囲拡大の運動はしばらく休息の後、昭和34年暮から再開して、昭和36年4月に一応の目的を達するまで続けられることとなる。そのことはまた稿を改めて書くこととしよう。

66 昭和33(1958)年度(s33.4月～s34.3月)の規約改正、理事改選、新入会員、退会者など

66.1 規約改正

昭和33(1958)年5月23日の洋書輸入協会総会において、本年1月1日より実施された会名変更に関する次のような規約改正が審議され、承認された。(会名変更については、洋書輸入協会会報 Vol.24, No.8(1990年8月号)所載、協会史(54)58.2項参照)

記

規約第一条を次のように変更する。

旧 本会は海外出版物輸入同業会と称する。

新 本会は洋書輸入協会と称する。

(注) 英文名は変更なし。

なお、会名変更に伴い規約名も、従来の「海外出版物輸入同業会規約」から「洋書輸入協会規約」と変更された。

66.2 理事改選

同日の総会において投票の結果、下記の通り6社が再選された。

再選	紀伊國屋書店	代表者	田辺茂一氏
〃	丸善	〃	司 忠氏
〃	日本洋書販売配給	〃	渡辺正広氏
〃	教文館	〃	北村徳太郎氏
〃	福本書院	〃	福本初太郎氏
〃	国際書房	〃	服部 正喬氏

なお理事長は、新理事互選の結果丸善株式会社司忠氏が再選された。

66.3 代表者、社名、住所などの変更

(1) 株式会社 旭屋書店(代表者変更)

昭和33(1958)年6月14日付、JBIA No.22で、代表者が早嶋 勝氏より早嶋 健氏に変更された旨会員に通知されている。

(2) 朝日ブックストア株式会社 (住所変更)

同年 8 月 16 日付、JBIA No.35 で、台東区寿町 3-3 朝日工機ビル 3F に住所変更した旨会員に通知されている。
(続く)

お知らせ

このたび、ジョン・ワイリー・アンド・サンズ・リミテッド東京事務所の所長に長谷 整氏が就任されました。前所長の塚部 洋氏は定年退職され、顧問になられました。

会員紹介

日本レンタカラー株式会社

ソニーグループの一員として、ベンチャースピリットに溢れる会社——それが日本レンタカラーです。

代表取締役社長 鈴木 玲二
映像営業部部長 江口 隆三
〒105 東京都港区浜松町 1-21-4 港ビル
TEL 03(3433)4375(直通) FAX 03(3435)0253

①ビデオプログラム販売

多大な評価と数々の実績を誇る、世界の名だたる放送局制作の番組を輸入、良質、上質なプログラムを厳選して活字著作物と共に、主に教育マーケットにお届けしています。

昭和53年 1 月 我が国最初のビデオ機器・映像ソフトの販売及びレンタル業務を目的に、ジャーディンマセソン(株)と鈴木玲二の合併会社として設立。

昭和53年 7 月 米国 CBS 放送制作の“CBS EVENING NEWS”のビデオ・パッケージレンタル・日本総代理店となる。

昭和56年 2 月 BBC (英国放送協会) エンタープライズ社との契約により、BBC ビデオライブラリーの日本総代理店となる。全 14 分野にわたって記念碑的大作や貴重なプログラムを全て網羅した、この一大映像ビデオ・ライブラリーの輸入販売を行っています。

昭和63年 1 月 NHK 制作「ANATOMY OF JAPAN—日本解剖」の日本及びアジア地域の販売権を取得。

昭和63年 9 月 ヨーロッパ最大級の民間局テムズ・テレビとの契約により、テムズ・ビデオ・セレクションシリーズを輸入販売。

平成 3 年 4 月 オーストラリア国営放送 (ABC) との契約により、NON-THEATRICAL マーケット日本総代理店となる。

②映画ビジネス—懐かしの名作から、最新の話題作まで

洋画を輸入して、第一級の国際ホテルへの CCTV サービスによる供給を行っています。

③映像ソフト制作—CF・環境映像ソフト制作で、海外ロケも……

④国内外映像ソフト—教育関連から博展映像まで……
ファッション、音楽、スポーツなど幅広い分野のビデオ・ソフトを、主に業務用に権利処理。

その他、映像機器レンタルサービス部門、小規模の A.V.C. (オーディオ・ビジュアル・コンピュータ) システム工事から大規模の高度総合映像ネットワークシステムまでを構築する情報システム営業部を持ち、ニューメディア時代の未来を拓す、映像コミュニケーションの担い手をめざしています。

「パーガモン社売却さる」

イギリスの Pergamon Press は、マックスウェル・グループの帝王ロバート・マックスウェル氏が第二次大戦後40余年をかけて育て上げ、今なお多くの利益を生んでいる、同グループの中核的な存在であるが、このほどオランダの Elsevier 社に 4 億 4 千万ポンドで売却されることになった。

すでに 3 月末に親会社の Maxwell Communication

Corporation と Elsevier 社との間で基本的な合意が成立しているが、細部のつめが残っており、契約の完了には 5 月いっぱいかかる見込みである。

両社とも STM の分野では世界でも屈指の出版社であり、世界の出版界に及ぼす影響は大きいものと目されている。

なお、パーガモン社から得意先宛の 4 月付の案内状によれば、同社は今後とも別個の会社として運営される由で、雑誌や書籍の注文は、各地域ともこれまでと同じ宛先に送ってほしいとのこと。

(The Bookseller、4 月 5 日号、PW 4 月 12 日号他より)

— 櫛紀伊國屋書店提供 —

会員紹介



Heinemann International

日 本 代 表 ヴォーン ジョーンズ

東京都千代田区猿楽町1-2-1 新日貿ビル

TEL 03(3294)0791 FAX 03(3294)0792

ハイネマン社の創業者ウイリアム・ハイネマンは、1890年、ロンドンにおいて出版業を開始しました。

当初ハイネマン社は一般書の出版に力を入れ、多くのベストセラー・フィクションを世に送り出しました。D.H.ロレンス、サマセット・モームや、グラハム・グリーンなどの有名な著者の作品は、すべてハイネマン社によって出版されてきました。

その後ハイネマン社は成長を続け出版分野を拡充し、数部門からなるハイネマングループに成長しました。現在の主要な出版分野は、文学書、児童書、専門書、教育書、それに英語教育教材などです。1980年代に、ハイネマンは、リードインターナショナルの傘下となり、ハイネマングループの一部門であったハイネマン・インターナショナルは、リードインターナショナルの英語教育教材出版部門となりました。ハイネマン・インターナショナル日本事務所は、学術出版のバターワースグループ出版社日本事務所、一般書籍販売のオクトパス出版グループ日本事務所とともに、リードインターナショナルの日本での活動を推進しており

ます。

ハイネマン・インターナショナルは、現在では世界各地の市場に現地事務所を置き、英語教育教材の出版、販売を行っています。ハイネマン・インターナショナル日本事務所は、昨年9月にオープンして以来、日本各地の英語教師の方々に、以下のハイネマンの教材を、お勧めしております。

*テキスト

TRIO, New Generation, Flying Colours

*補助教材

Heinemann English Grammar,

Heinemann Integrated Skills series,

Heinemann Wordbuilder,

Play Games with English,

Heinemann Guided Readers,

上記タイトルの販売に加え、日本の英語教育に貢献するためには日本の英語学習者と先生方に満足していただける日本市場向けの教材を開発することが不可欠であると、私たちは確信しております。

余丁町辺の坂と沙 ^{シェイクスピア} 翁 劇〔2〕 花開く翻案の時代

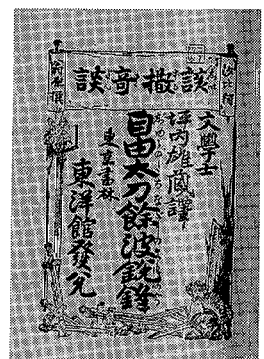
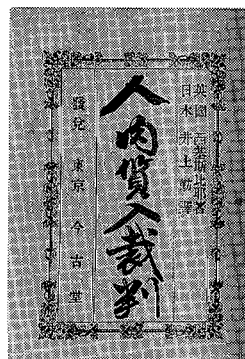
丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

前回ハムレットの台詞を幾つか紹介したが、ついでにもうひとつ、極めつけの珍訳をご披露することにしたい。
 “Arimas, arimasenu, are wa nandeska ; - Moshi motto daijobu atama naka, itai arimas.” これは幕末、明治の日本で活躍したイギリス人ジャーナリスト、ワグマン (Charles Wirgman) が創刊した『ジャパン・パンチ』明治7年1月号に掲載されたもので、侍姿のハムレットが思い惑っている舞台風景の漫画も添えられた迷作であり、これは実際に上演されたものであろうと想定されている。ともあれ、今回はシェイクスピアの翻案華やかかなりし明治20年代頃までを、大まかに辿ってみることにしたい。

日本で初めてシェイクスピアの筋らしきものが現れたのは、明和8年(1771)近松半次作の『妹背山婦女庭訓』^{いもせやまおんなていきん}や文化7年(1811)四代鶴屋南北による『心謎解色糸』^{こころのなぞとけたいろいと}という歌舞伎狂言で、この中に「ロミオとジュリエット」を取り込んだと思われる趣向がみられる。明治に入ってから、有名な中村正直訳『西国立志編』(スマイルズ著)の中でハムレットのセリフの一部が訳されたのに始まり、仮名垣魯文が明治8年新聞に連載した浄瑠璃風翻案劇の「ハムレット」は不評のため中断するが、後年、明治19年に『葉武烈土倭錦絵』^{はむれつとやまとにしきえ}として公刊される。「ハムレット」の最初に完結した訳となったものである。明治12年には和田垣謙三の『李王』(『リヤ王』の漢文訳)、明治16年にはチャールス・ラム『シェイクスピア物語』からの翻案『人肉質入裁判』(ヴェニスの商人)が出版される。新富座上演のための訳で、宣伝のため5万冊も印刷したといわれ、訳者の井上勤は文学者ではないが明治初期翻訳文学界で大きな功きをした人物である。同じ年、河島敬蔵(当時立教大学の英文学教授)の『ジュリアス・シーザルの劇』が原文からの最初の訳として雑誌に連載、明治19年に単行本『沙吉比亞戯曲 羅馬盛衰鑑』^{しやけすびあきよく ろうまいせいかがみ}となるが、これは後出の逍遙訳『該撒奇談』よりも原作に忠実で、良い訳であったといわれている。明治17年に原作から初めての直接完訳で、坪内逍遙による浄瑠璃院本風の七五調訳『該撒奇談 自由太刀余波鋭鋒』^{しいざるきだん じゆうのたちなごりのきれあじ}(ジュリアス・シーザー)が発表される。明治18年には関西文壇の重鎮、宇

田川文海による翻案劇『何桜彼桜銭世中』^{さくらどきざにのよのなか}(ヴェニスの商人)が出、それを脚色した歌舞伎を中村宗十郎が大阪で上演し、日本で初めてのシェイクスピア劇の公演になる。明治19年頃から翻訳・翻案の数も増え、院本体で「ロミオとジュリエット」を訳した河島敬蔵の『露妙樹梨戯曲 春情浮世之夢』、明治20年には「ロミオとジュリエット」を改題した木下新三郎の『仇結 奇之赤縄 西洋娘節用』^{あだむすびよしのいろなわ}が刊行されたが、これは河島敬蔵の『春情浮世之夢』にあった誤訳が正され、原文をよく把握した暢達華麗な文章であったといわれている。明治21年になると『泰西奇談 女房持虎之巻』(じゃじゃ馬ならし)、団十郎の序文入り『自由之笞恩愛之絆 豪傑一世鏡』(コロオレーナス)など、ラムの『物語』が盛んに訳される。また同年公表された山田美妙訳の『正本はむれつと』は、現代語訳を目指した新鮮な訳であった。さらに明治22年森鷗外が訳詩集『於母影』の一篇として『オフエリアの歌』を訳す。明治24年には福地桜痴が歌舞伎座の座付き作者として「ハムレット」を翻案した『豊島之嵐』を読売新聞に連載する。これは原作との関係がかなり希薄で、極めて自由な翻案であった。明治26年には島崎藤村が「ハムレット」の模倣作『朱門のうれひ』をだし、また明治29年に逍遙が訳した『デンマルク皇子ハムレットの悲劇』は、浄瑠璃風の形式、文体から離れ、簡単なト書きを入れた原文に忠実な対話だけのドラマで、口語の混じってきた文体となった。

ほんの一部の紹介に止まったが、角書をつけた歌舞伎風の書名の妙訳に楽しさ覚える。と同時に、西洋先進文化の導入に涙ぐましい取り組みをおこなった明治人の努力の証しを、まざまざと見せつけられる思いがする。



フォーティー・ラブ（テニス同好会）春季合宿報告

つい二週間程前まで真っ白な絨毯のようだった多摩川付近の梨畑も、こんもりとした雲のように見えた桜並木の山桜も、合宿から帰ってみるとすっかり明るい緑に変わり、日に日にその一つ一つの細胞が力強く育ってゆくのを感じる。

今年のフォーティー・ラブの春季合宿は4月20日～21日（土・日）に早々に行われたが、初夏を感じさせるような暖かい晴天に恵まれ、我々を躍動させてくれる細胞も新しく生まれ、活動を始めた二日間であった。タイミングも最高、会場も津久井湖より車で10分程の『津久井プチ・ピラ』のベスト・ロケーションと言うこともあり、定員20名のところ、22名の参加を得て久しぶりの大盛況となった。

もうフォーティー・ラブの晴天記録は、どこまで延びるのがか、最近は本当に楽しみである。プチ・ピラのロッジは全部建て替えられたとの事で、風呂も清潔、ロビー

も中々で、自家製の味噌や、ワインも並んでいる。コートは全天候3面で、ゴルフの練習が出来る芝生に接しているのが何とも嬉しい。一・二の技術をもつ仲間も、初心者も別け隔てなく楽しめるのがフォーティー・ラブの合宿で、何時もこの集まりに参加すると、テニスも人も超越した連帯感を感じさせてくれる。

一回のゲームの中にも調子や流れにアップ・アンド・ダウンがあるのは、恰も人生の如しである。そして身体は疲れても、技術が低下しても、満足して酒を酌み交わし、何時も満ち足りて帰宅する。そして思うのである。

“It is better to wear out than to rust out” と言うことを。

これからも、何時までも、たくさんのテニス仲間達が、より多くの新しい仲間と出会い、テニスを通してますます人生を深く、広く生きる事ができるよう切望しながら。

（RA 記）



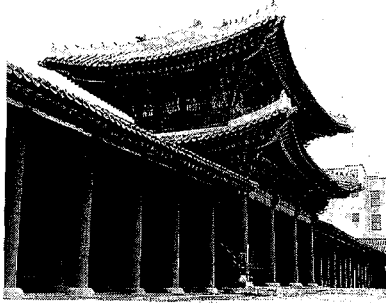
韓国文化財保護協会編

韓国文化財大観 日本語版 全8巻

〈好評発売中〉 各巻約240ページ・ハードケース入・版型34.2×25.6cm
(注文番号 MSN:90S0721)

セット特価(91年7月31日まで) ¥138,000

(上記以降) ¥150,000 [消費税別]



企画・製作に5年余を費し、日本文化の源流ともいえる韓国に現存する1,081点に上る重要文化財を華麗なカラー図版、専門家による解説と貴重な学術資料により完全に網羅する初の全集(韓国文化広報部推薦、韓国出版文化賞受賞)の日本語版が遂に刊行の運びとなりました。

〈解説執筆校閲委員〉

金基雄 文化財専門委員
金東賢 文化財研究所 保存科学研究所室長
金正基 文化財研究所長
文明大 東国大教授・文化財委員
朴相国 文化財専門委員 林永周 文化財専門委員
任昌淳 泰東古典研究所長 鄭永鎬 教員大教授
秦弘燮 韓国精神文化院教授
許英桓 誠信女子大校博物館長 黃壽永 前東国大教授総長

〈図版撮影〉 金大壁/安章憲/韓哲弘

〈各巻内容〉

第1巻	国宝(1)	木造建築、塔婆、仏像、石造物
第2巻	国宝(2)	古墳遺物、磁器、工芸、書画・典籍
第3巻	宝物(1) 木造建築	一般建築、寺院建築
第4巻	宝物(2)	塔婆
第5巻	宝物(3) 仏像	金銅仏、石仏、磨崖仏
第6巻	宝物(4) 石造物	浮屠、石碑、石燈・その他
第7巻	宝物(5)	古墳遺物、先烈遺物、磁器、工芸
第8巻	宝物(6)	書画、典籍



(大学堂(韓国)/日本総代理店:丸善)

日本総代理店
丸善

本社・日本橋店: [〒103] 東京都中央区日本橋 2-3-10 ☎(03)3272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・渋谷・錦糸町・北千住・取手・土浦・浜松・船橋)・千葉・八王子・松本・大宮・所沢・新潟/札幌・仙台・弘前・盛岡・郡山・筑波・水戸・横浜・名古屋・静岡・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄/ニューヨーク・シカゴ・ロンドン

1991年5月 通巻第289号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎3271-6901 FAX.3271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329